



大野 慶人

Yoshito Ohno
「花と鳥」
Flower and Bird

2017年10月26日[木] 19:30-

「会場」ターミナルプラザことにパトス

Dance Archive Project 2017 in SAPPORO
ダンスアーカイヴプロジェクト作品 4都市巡回公演
ダンスアーカイヴプロジェクトは、残されたアーカイヴ資料に基づき、様々の方法で新しい表現を作り出し、歴史的な舞踊作品を再現する試みです。舞踊の歴史を考え、次世代に伝えることを目指しています。「花と鳥」は、舞踏の最初の作品「禁色」(1959)に出演した大野慶人が、土方巽、大野一雄との体験、そして自分自身について直接私たちに語り、踊る作品です。「大野一雄について」は、ビデオをコピーするという型破りな方法で、「舞踏」に独自のアプローチを試みた問題作です。「舞踏」は、日本独自のダンス、Butohとして世界中に広まりながら、「舞踏とは何か」という問いに対し、私たちはまだ良い答えが見出だせていません。「舞踏」を内側と外側から、対照的に凝視する、ふたつの作品をぜひご覧ください。



川口 隆夫

Takao Kawaguchi
「大野一雄について」
About Kazuo Ohno

2017年10月27日[金] 19:00-

大野慶人「花と鳥」

10月26日[木] 開場19:00/開演19:30/終演20:30

[舞踏]大野慶人 映画「へそと原爆」(監督・脚本:細江英公)

[衣装]大野悦子 [音響]国府田典明 [照明]溝端俊夫



作品構成

大野慶人自身による珠玉の小品「ウサギのダンス」(2011)、「鳥の歌」(2013)

土方巽が1985年大野一雄作品「死海」初演にあたり大野慶人のために振り付けた三作品「土方三章」

細江英公監督、脚本により1960年に制作された、土方巽、大野慶人出演の短編映画「へそと原爆」全編を完全上映

大野一雄「ラ・アルヘンチーナ頌」の始まり「ディヴィーヌ抄」とそれに続く「少女」の踊り(大野一雄自身が着た衣装を使用)

大野慶人(おおの・よしと)

1938年東京に生まれる。1959年土方巽の「禁色」で少年役を演ずる。60年代の暗黒舞踏派公演に参画。69年初リサイタル後に舞台活動を中断、85年「死海」で大野一雄と共演、カムバックした。86年以降大野一雄の全作品を演出。グッパター舞踊団ダンサーとの共演「たしかな朝」(2010)、音楽家アントニーとの「Antony & Ohnos」(2010)などコラボレーション作品の他、ソロ作品「花と鳥」(2013)はヨーロッパ(2014)、ブラジル(2015)、中国(2016)を巡演。著書に『大野一雄 魂の糧』(フィルムアート社)、「舞踏という生き方」。近刊に四方田犬彦著『大野慶人の肖像』(Canta Co.Ltd)。

「花と鳥」上演記録 2013-2017

- 2013** 10月 初演 横浜(大野一雄フェスティバル)
- 2014** 3月 ミュンヘン(ドイツ)、ボローニャ(イタリア)、バルセロナ(スペイン)
- 2015** 4月 横浜(慶應義塾大学来客)
- 7月 ブラジルツアー:リオデジャネイロ、弓場農場、サンパウロ
- 10月 横浜(大野一雄フェスティバル)
- 11月 ポーランドツアー:ワルシャワ、クラコフ、ポズナń
- 2016** 7月 札幌(札幌国際舞踏フェスティバル企画)、第一次中国ツアー:北京、天津
- 9月 秋田
- 2017** 9月 第二次中国ツアー:南京、上海、成都、北京
- 10月 秋田

[チケット取り扱い・問合せ]

□ CONTE-SAPPORO Dance Center

〒063-0811 札幌市西区琴似1条4丁目2-15 ニシムラビル4F
TEL | 080-5591-0098 MAIL | info@conte-sapporo.com
WEB | http://conte-sapporo.com/

□ NPO 法人 ダンスアーカイヴ構想 制作担当:樫村千佳

TEL | 03-3450-6507 MAIL | info@dance-archive.net

[アクセス]

ターミナルプラザことにパトス TEL:011-612-8383

〒063-0811 札幌市西区琴似1条4丁目 地下鉄東西線琴似駅B2F

川口隆夫「大野一雄について」

10月27日[金] 開場18:30/開演19:00/終演21:00

[コンセプト・演出・出演]川口隆夫 [振付]土方巽、大野一雄

[ドラマツルク・サウンド・映像]飯名尚人 [照明]溝端俊夫 [衣装]北村教子



作品構成

大野一雄の踊りを公演記録映像からコピーし、音響は記録映像の収録をそのまま使用、衣装、照明は当時のオリジナルデザインに倣っています。「O氏の肖像」(長野千秋監督1969)と「死と誕生」(「ラ・アルヘンチーナ頌」の冒頭シーン)に着想を得たパフォーマンス、「わたしのお母さん」初演映像(1981)より「胎児の夢」「愛の夢」「ショパンピアノ曲のアンコール」、「死海」ジュネーブ公演映像(1985)より「ジプシー男爵入場行進曲」、「ラ・アルヘンチーナ頌」初演映像(1977)より「日常の糧」「天と地の結婚」「タンゴ」、途中、大野慶人が大野一雄指人形を使って踊る短編映像(必見!)が挿入されます。

川口隆夫(かわぐち・たかお)

1996年よりパフォーマンスグループ「ダムタイプ」に参加。並行して2000年よりソロ活動を開始。主な作品に「ディケノヴェス - 見えないと言え」(2003)、「D.D.D. - 私の心臓はあと何回鼓動して止まるのか?」(2004-2007)、「グッド・ラック」(2008)、「TABLEMIND」(2011)。近年は「病める舞姫をテキストに - 2つのソロダンス」(2012)、「大野一雄について」(2013)など舞踏についてのパフォーマンス作品を制作している。また東京国際レズビアン&ゲイ映画祭のディレクター(1996-99)を務めるなど、その活動は多岐に渡っている。

「大野一雄について」上演記録 2013-2017

- 2013** 8月 初演 d-倉庫「ダンスが見たい」フェスティバル(東京)、10月 大野一雄フェスティバル(横浜)
- 2015** 2月 Dance Archive Project(横浜)、9月 光州(韓国)、ミュンスター(ドイツ)、ザグレブ(クロアチア)、11月 春秋座(京都)
- 2016** 5-6月 欧州ツアー:ブリュッセル(ベルギー)、ビルバオ(スペイン)、リスボン(ポルトガル)、8月 ジャカルタ、ジョクジャカルタ(インドネシア)、9-10月 北米7都市ツアー:ニューヨーク、ロサンゼルス、ピッツバーグ等
- 2017** 1月 ノルマンディー(フランス)、2月 サンティアゴ・デ・コンポステラ(スペイン)、メルボルン(オーストラリア)、4-5月 メキシコツアー:ソノラ、メキシコシティ、8-9月 欧州南米ツアー:ウィーン(オーストリア)、ベルリン(ドイツ)、ワルシャワ、クラコフ(ポーランド)、カンピーナス、サルバドール(ブラジル)

[チケット]全席自由・税込

早割予約	3,000円(※ご予約〆切:10月10日)
一般	前売り3,500円 当日4,000円
学生	前売り2,500円 当日3,000円
コンカリーニョ会員割引	3,000円※要予約
お得な2日間通し券	6,000円

NPO 法人ダンスアーカイヴ構想 | 大野一雄舞踏研究所のアーカイヴ活動を母体に2016年12月NPO 法人として設立。「大野一雄」を起点に、日本のダンスアーカイヴ構築と世界のダンスアーカイヴネットワーク形成を目指しています。運営は寄付金により行っていますので、皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。寄付は随時受け付けています。

http://www.dance-archive.net